

能登半島地震・被災者支援プログラムの報告（第18回）

東京都・TVAC・CS-Tokyo

■日程：2024年8月21日（水）～8月24日（土）

■ボランティア参加者数：18名

■サロン実施場所および被災者の参加者数

日時	サロン実施場所	被災者の参加者数
8月22日（木）	穴水町諸橋地区 諸橋仮設団地	11名
8月22日（木）	穴水町甲地区 兜公民館	24名
8月22日（木）	穴水町中居地区 住吉公民館	16名
8月22日（木）	輪島市町野地区 金蔵集会所	14名
8月23日（金）	穴水町志ヶ浦地区 志ヶ浦コミュニティセンター	13名
8月23日（金）	輪島市門前地区 禅の里交流館	43名
8月23日（金）	輪島市門前地区 皆月多目的集会所	31名
8月23日（金）	輪島市門前地区 浦上公民館	32名

■被災者の声（主なもの）

- ・自宅に住む方と仮設住宅に住む方では、仮設の方が情報が得やすい。このサロンで情報収集ができて助かっている。
- ・ここに来て話すと元気になるわね。家に1人でいるとテレビを見るくらいしかないし、しゃべらないけど、ここに来るとみんないるから。
- ・前は12畳の部屋に1人で寝ていたのに、今は仮設住宅の4畳半に夫と寝ている。とにかく、狭いところがつらい。息苦しい。
- ・震災で家の一部が倒壊したが子供や孫が1ヶ月ほどいて修復してくれた。屋根もブルーシートで覆ったり、トタンで雨漏りしないようにしてくれた。
- ・家は半壊になったが、知り合いの大工さんに修復方法を教わって日曜大工で直しながら住んでいる。子供のためにこの自宅を残したいから頑張って修理している。
- ・サロンで初めてココアオレを飲んだら美味しかった。来週からココアを頼むわ。
- ・震災で自分の家が激しく揺れている中でお向かいの家が崩れていくのを見た。今でも寝ているときなどにまざまざと思い出されて苦しくなる。
- ・夫が漁師だったけど震災で海岸が隆起して漁が出来なくなり、介護の仕事をするようになった。
- ・能登の様子を発信してほしい。ニュースでも報道されなくなり忘れられていると感じる。
- ・イノシシが畑を荒らして困っている。
- ・明治時代からある自宅に耐震補強をして、人が集まれる場所にしたい。お花や歌、ピアノが演奏できる場所に出来たらいいな。

■ボランティアの所感（主なもの）

- ・サロン活動を続けて欲しいという声をいただき、今後継続していくための支援をこちら側がどうサポート出来て、軌道に乗せられるかが大切だと感じた。

